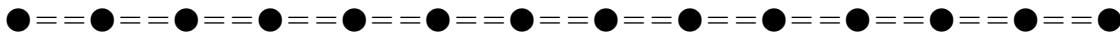
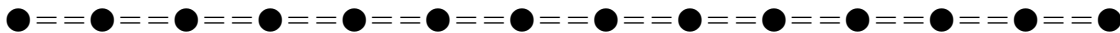


平成28年1月12日発行



B i o T e c h T O K A I —メールマガジン 第133号—

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会



**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成27年度地域産学連携支援委託事業
 - ☆平成28年度競争的研究資金制度等公募説明会 平成28年1月18日
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
 - ☆平成27年度補正予算「革新的技術開発・緊急展開事業」に係る東海ブロック技術提案会 平成28年1月25日
 - ☆みえバイオリファイナリー研究会 第2回異業種交流会 平成28年1月22日
 - ☆名城大学経営学部・経済学部 起業講座 平成28年1月13日
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
 - ☆農林水産省等のイベント情報のURL
- 4. 競争的研究資金について
 - ☆平成28年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 (農林水産省)
 - ☆平成28年度 厚生労働科学研究費補助金 (一次公募) (厚生労働省)
 - ☆平成28年度「創薬基盤推進研究事業」(1次公募) (AMED)
 - ☆平成27年度研究成果最適展開支援プログラム ステージ3 NexTEP-タイプ(JST)
 - ☆平成27年度 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
 - ☆民間の競争的研究資金を14件掲載
- 5. 新技術情報
 - ☆農林水産・食品分野の新技術の紹介 (1件)



◆ 1 ◆ 平成27年度地域産学連携支援委託事業

☆平成28年度競争的研究資金制度等公募説明会

平成28年度の農林水産省関係の競争的資金の東海ブロックにおける説明会を下記の通り開催いたします。

【開催日時】平成28年1月18日（月）13：30～16：30

【開催場所】ウインクあいち（愛知県産業労働センター）11階 1101会議室
（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

【会場アクセス】<http://www.winc-aichi.jp/access/>

【主催】農林水産省東海農政局、NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【説明内容】

- （1）平成28年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業の公募について
- （2）平成28年度委託プロジェクト研究の公募について
- （3）研究成果及び知的財産権の取扱いについて
- （4）その他の研究資金制度について

【個別相談会】説明会終了後、NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会による個別相談会を実施します。個別相談を希望される方は、その旨を別紙参加申込書に記載しお送り下さい。

【参加申込み】参加申込みにつきましては、下記 URL から申込書を取り出し、FAX 又はメールにて、NPO 東海地域生物系先端技術研究会へお申し込み下さい。
定員80名（定員になりましたら締め切らせていただきます。）

<http://www.biotech-tokai.jp/acv/pdf/H27KyousoutekisikinseidoSetumeikai.pdf>

【申込先】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会（大石、道村）

TEL/FAX：052-789-4586

E-mail：bio-npo2@y4.dion.ne.jp

【問い合わせ先】東海農政局生産部生産技術環境課（安達、澤田）

TEL：052-746-1313 FAX：052-218-2793

◆ 2 ◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆平成27年度補正予算「革新的技術開発・緊急展開事業」に係る東海ブロック技術提案会

農林水産省は、TPP対策に係る平成27年度補正予算「革新的技術開発・緊急展開事業」の推進のため、現場ニーズ及び研究機関が有する技術シーズを聴取することを目的としたブロック技術提案会を開催します。東海ブロックでの提案会は、下記のとおり開催いたします。

【開催日時】平成28年1月25日（月）10時～17時（9時30分受付開始）

【開催場所】桜華会館 南館3階 桜花の間（愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2）

【提案会開催案内】東海農政局 HP：<http://www.maff.go.jp/tokai/press/kankyo/151224.html>

【内容】

- (1) 管内各県から、地域農業の競争力強化の方向性や現場ニーズに関する説明
 - (2) 技術を提案した研究者からの提案技術の説明
 - (3) 技術を提案した研究者と技術提案会参加者（管内各県、他の研究機関等）との意見交換
- なお、今回の提案資料は、提案会終了後に<http://www.s.affrc.go.jp/docs/kk27/index.htm>（外部リンク）にて公開されます。

【募集人員（傍聴者）】 60名

【申込要領】研究課題の提案申込方法

本提案会では、研究機関、民間企業、大学等から農業の競争力強化のための技術シーズを募ります。提案者は、「提案申込要領」をご確認の上、インターネット又はFAXにて、平成28年1月18日（月）17時までにお申し込みください。

インターネットでの申込：<https://www.contact.maff.go.jp/tokai/form/6c41.html>

FAXでの申込先：東海農政局生産部生産技術環境課（安達、澤田）052-218-2793

傍聴申込方法：傍聴申込書は上記の東海農政局HPから取り出してください。

平成28年1月21日（木）12時までにお申し込みください。

定員60名で締め切りとなります。

インターネットでの申込：<https://www.contact.maff.go.jp/affrc/form/58ba.htm>

FAXでの申込先：東海農政局生産部生産技術環境課（安達、澤田）052-218-2793

【提案書申込要領】 <http://www.maff.go.jp/tokai/press/kankyo/pdf/151224-02.pdf>

【お問い合わせ先】 東海農政局生産部生産技術環境課（担当者：安達、澤田）

TEL：代表 052-201-7272（内線 2264） FAX：052-218-2793

注）水産業分野・林業分野の提案会

水産業分野：1月26日（火）全国ブロックで開催（東京会場）

林業分野：1月27日（水）全国ブロックで開催（東京会場）

<https://www.contact.maff.go.jp/affrc/form/58ba.htm>

.....

☆ ～新たなビジネスの創生に向けて～

みえバイオリファイナリー研究会 第2回異業種間交流会

木材や未利用農産物などのバイオマス資源を原料に、バイオ燃料・バイオプラスチック・バイオ薬品などの製造を目指すバイオリファイナリーは、環境・エネルギー関連の新たな成長分野として期待されています。

本交流会は、バイオリファイナリーに関連する商品に対する様々なシーズ・ニーズをお持ちの幅広い企業や、大学院生、大学生などバイオリファイナリーに興味がある方を対象に、バイオマス関連産業の動向や、バイオリファイナリーに関連する最新の取組などをテーマとして開催します。

【開催日時】 平成28年1月22日（金） 14：30～16：30（開場：14：00）

【開催場所】 三重大学地域イノベーション研究開発拠点 低層棟3階ホール

（三重県津市栗真町屋町1577）

【内容】 基調講演

バイオリファイナリーの現状と今後の展開

NPO 法人 近畿バイオインダストリー振興会議

神戸大学大学院工学研究科教授

近藤昭彦氏

県の取組報告：みえバイオリファイナリー研究会の取組について

（三重県）

バイオリファイナリーに関する県内企業の取組発表

座長： 三重大学大学院生物資源学研究科教授

田丸 浩氏

事例1：三菱化学のバイオプラスチック

三菱化学（株）機能性樹脂事業部

田中智彦氏

事例2：シンフォニアテクノロジーの医療・農林水産分野への取組

シンフォニアテクノロジー（株）開発部・商品開発部兼新事業企画部

松田浩一氏

【主催】三重県、三重大学

【チラシ】http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/20160122_biorefinery2th.pdf

【申込み】定員100名、参加費無料、申込締切 平成28年1月20日（水）必着

申込用紙は上記の「チラシ」から入手してください。

【お問い合わせ先】三重県雇用経済部エネルギー政策・ICT活用課 庄山・尾上

.....

☆名城大学経営学部・経済学部 起業講座（第14回（最終回））

名城大学では、起業講座シリーズ「未来のために、今、私たちができること、やらねばならぬこと」と題して、2015年9月30日から2016年1月13日まで毎週水曜日に公開講座を開講しています。事前申し込みは不要です。ご興味のある回にご参加ください。

【開催日時】平成28年1月13日 18:10～19:40

【開催場所】名城大学天白キャンパス 共通講義棟北1階(名城ホール)

(名古屋市天白区塩釜口 1-501)

地下鉄鶴舞線 塩釜口下車、1番出口（右）徒歩4分

地図：<http://www.meijo-u.ac.jp/about/access/index.html>

【テーマ】第14回：平成28年1月13日

「企業は社会のためにある」

城南信用金庫 理事長 吉原 毅氏

【全体スケジュール・内容】<http://www.meijo-u.ac.jp/event/detail.html?id=3Vhdir>

◆3◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産省農林水産技術会議事務局では、農林水産関係の国立研究開発法人等の開催するイベントを紹介しています。イベントカレンダーのURLは下記の通りです。

<http://sto.affrc.go.jp/event/calender>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○国立研究開発法人農業環境技術研究所が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/sympo/sympo.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成27～28年度競争的研究資金等について

☆平成28年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 (農林水産省)

農林水産省は下記の農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（農食研究推進事業と略）の公募を開始しました。

【公募期間】平成28年1月8日（金）～2月8日（水）12時まで

○実用技術開発ステージ：

農食研究推進事業における「実用技術開発ステージ」では、研究実施期間終了後に生産現場等で確実に活用できる生産・流通・加工等の実用的な技術（以下「生産技術等」という。）の開発を対象とします。そのため、前提条件として、十分な基礎・応用研究での知見及びそれに基づく技術シーズの蓄積があることが必要です。

1) 現場ニーズ対応型

研究期間 3年以内

研究費 Aタイプ 3千万円以下/年

(但し、研究連携協定に基づく課題は5千万円以下/年)

Bタイプ 1千万円以下/年

公募概要 http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2016/zituyou_gizyutu_2016.htm

2) 育種対応型

育種対応型では、「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針」（平成 25 年 12 月攻めの農林水産業推進本部決定）を踏まえ、実需者等のニーズを取り入れ、研究期間終了後に生産現場で確実に普及できる新品種の開発を対象とします。

研究期間 5 年以内

研究費 A タイプ 2 千万円以下／年

B タイプ 1 千万円以下／年

公募概要 http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2016/zituyou_ikusyu_2016.htm

3) 重点施策対応型

本研究区分においては、他府省との連携により技術開発等を推進する重要な施策である総合特区、地域イノベーション戦略推進地域に指定された地区・地域及び地域活性化プラットフォームにおけるモデルケース指定された地区・地域において、総合特区計画及び地域イノベーション戦略を実現するために必要な実用化段階の研究を実施する研究課題を対象とします。（このため、総合特区計画等において位置づけがなされていない研究計画は本研究区分の対象外となります。）

研究期間 3 年以内

研究費 2 千万円以下／年

公募概要 http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2016/zituyou_gizyutu_2016.htm

○発展融合ステージ：

「発展融合ステージ」では、「イノベーション創出基礎的研究推進事業」等の、農林水産省の研究資金や他の研究資金による基礎研究で開発・確立された研究成果を発展させ、農林水産・食品分野の諸課題の解決や革新的な技術の開発につなげるための応用研究が対象です。

また、創出される研究成果が、農林水産・食品分野の生産現場等で実用化につなげるための実用化段階の研究開発につながるとともに、将来、農林水産・食品分野の生産現場等で実用化につながる具体像が明確に示されていることが必要です。

1) 産学機関結集型

研究期間 3 年以内

研究費 A タイプ 5 千万円以下／年

B タイプ 1 千万円以下／年

公募概要 http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2016/hatten_yuugou_2016.htm

2) 重点施策対応型

研究期間 3年以内

研究費 2千万円以下/年

公募概要 http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2016/hatten_yuugou_2016.htm

○シーズ創出ステージ:

「シーズ創出ステージ」では、理工系や医学系を含む多様な研究機関等の独創的なアイデアや基礎科学など萌芽段階の研究を基に、農林水産・食品分野の諸課題の解決や革新的な技術の開発につながる技術シーズ（新技術や新事業の創出につながる技術要素）を開発するための目的基礎研究を対象とします。

1) 一般型

研究期間 3年以内

研究費 Aタイプ 5千万円以下/年

Bタイプ 1千万円以下/年

公募概要 http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2016/sizu_sousyutu_2016.htm

2) 重点施策対応型

研究期間 3年以内

研究費 2千万円以下/年

公募概要 http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2016/sizu_sousyutu_2016.htm

.....

☆平成28年度 厚生労働科学研究費補助金（一次公募）

（厚生労働省）

【分野等】

- ・食品添加物の安全性確保のための研究
- ・食品中残留農薬等の分析法に関する研究
- ・食品用器具・容器包装等を使用される化学物質や複数の化学物質の複合影響に関する研究
- ・食品中の自然毒の安全性確保に関する研究
- ・畜産食品の安全性に関する研究

- ・ウイルスを原因とする食品媒介性疾患の制御に関する研究 等

【公募概要】 <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000107217.html>

【公募要領】

http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/h28_kouroukaken_yoko.pdf

【公募期間】 平成27年12月22日～28年1月28日

.....

☆平成28年度「創薬基盤推進研究事業」(1次公募) (AMED)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)は、平成28年度「創薬基盤推進研究事業」に係る研究開発課題を以下の要領で公募しています。

【分野等】

- ・薬用植物の新たな育種、栽培及び生産技術等に関する研究
- ・生物資源の基盤整備に関する研究 等

【公募期間】 平成27年12月24日～平成28年1月21日(正午)

【公募概要】 <http://www.amed.go.jp/koubo/010120151224.html>

【公募要領】 http://www.amed.go.jp/content/files/jp/koubo/010120151224_kouboyoryo.pdf

.....

☆平成28年度 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE) (総務省)

http://www.soumu.go.jp/main_osiki/joho_tsusin/scope/

【分野等】・若手ICT研究者等育成型研究開発

- ・電波有効利用促進型研究開発
- ・地域ICT振興型研究開発

【公募期間】 平成28年1月12日～2月12日

.....

☆平成27年度研究成果最適展開支援プログラム ステージ3:NexTEP-Aタイプ (JST)

本制度では、企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果(研究シーズ)の実用化

開発を支援しています。

【応募要件】 実用化を目指す未だ企業化されていない新規の研究シーズが存在し、かつ、JST への独占的実施権の設定に関して、当該研究シーズ所有機関等による同意が得られていること。

【応募企業要件】 ・日本国内に法人格を有する企業であること
・開発成功後、開発費の返済ができる財務基盤を有すること
・開発成果を実施できる体制を有すること

【公募期間】 平成27年10月15日（木）～平成28年3月31日（木） 正午

【公募概要】 <http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

【公募要領】

http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/h27-nextep-a/h27-a-step-nextepa-tunen_kouboyouryou_01.pdf

【研究開発期間】 原則10年以下

【研究開発費】 ～15億円

- ・開発成功時：開発支出額を10年以内の年賦返済（無利子）又は一括返済
- ・開発不成功時：開発支出額の10%を返済
- ・開発成果実施時は、売上に応じて実施料納付

.....

☆平成27年度 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)

情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されています。

- (1) いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- (2) G空間高度利活用基盤技術 (Tokyo 3D Mapping)
- (3) 以心伝心 ICT サービス基盤
- (4) フレンドリー ICT サービス技術
- (5) 社会インフラ維持管理サービス技術
- (6) レジリエント向上 ICT サービス技術

(7)車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトをはじめ、幅広くICTそのものの技術やICTを利活用して農業、医療、交通、教育などの異分野との融合をはかり、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、POC（Proof of Concept：概念検証）に取り組む技術開発課題です。

【公募期間】平成27年5月18日～平成27年度中はいつでも応募可能

【公募概要等】http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000127.html

【公募要領】http://www.soumu.go.jp/main_content/000357699.pdf

.....

『民間の競争的研究資金』

☆一般社団法人全日本コーヒー協会：「平成28年助成対象研究募集」

<http://coffee.ajca.or.jp/news/othernews/h28subsidize>

分野等：Human Healthに関するコーヒーの効用全般についての研究

公募期間：平成27年12月14日～28年1月14日 (12月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人日本食品化学研究振興財団：「平成28年度研究等助成」

<http://www.ffcr.or.jp/zaidan/FFCRHOME.nsf/pages/bosyu1>

分野等：

(1) 一般研究助成

- 1)食品添加物の安全性等に関する研究
- 2)食品添加物の有用性、性能および使用技術等に関する研究
- 3)食品添加物の品質、規格および製造方法等に関する研究
- 4)その他食品化学領域における調査・研究

(2) 課題研究助成

- 1)食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究
- 2)食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安定性向上に関する研究

3)各種精油、果汁、果実等の天然香料の基原動植物および食品に含まれるフレーバー成分の化学的研究

4)高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補給方法の開発研究

5)各国における食品添加物規制の実際と比較に関する調査・研究

公募期間：平成 27 年 11 月 15 日～ 28 年 1 月 15 日

.....

☆公益信託伊藤徳三ひまし研究基金：「平成 28 年度研究助成金」

http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/research/grant_information/2014100705

分野等：ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体に関する次の研究を対象とする。

- (1) ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究
- (2) ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料及び生物活性物質に関する研究
- (3) ひま種子の増産に資する育種及び栽培技術に関する研究
- (4) 上記 (1) ～ (3) 以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究

公募期間：平成 27 年 11 月 20 日～ 28 年 1 月 22 日 (12 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人日本応用酵素協会：「2016 年度研究助成」

<http://www.jfae.or.jp/assist/index.ht,l>

分野等：酵素の応用研究及び生命科学に関する酵素の研究

公募期間：平成 27 年 12 月 15 日～ 28 年 1 月 24 日 (1 月号新規掲載)

.....

☆一般財団法人旗影会：「2016 年度研究助成」

<http://www.nakashima-foundation.org/kieikai/entry/index.html>

分野等：

<一般助成>

- (a) 畜産（生産および加工）
- (b) 農産（生産および加工）
- (c) 食品工業（食品工学、食品化学、食品機能、食品衛生、調理科学など）

<特別助成>

一般助成に示す分野のうち、タマゴに関する研究（タマゴの新規活用、健康機能、衛生、調理科学、食文化など）

公募期間：平成 27 年 12 月上旬～ 28 年 1 月 29 日

.....

☆一般財団法人材料科学技術振興財団：〈研究助成〉

<http://www.mst.or.jp/orporate/research/research001.html>

分野等：先端的な科学技術分野における新材料に関連する基礎的研究ならびにそれらの材料の物性測定方法に関するもの、もしくはバイオ関連分野についての基礎的研究及び解析評価に関するもの。

公募期間：平成 27 年 12 月 10 日～ 28 年 1 月 31 日 (1 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人三菱財団：「平成 28 年度自然科学研究助成」

<http://www.mitsubishi-zaidann.jp/support/index.html>

分野等：自然科学の全ての分野にかかわる独創的かつ先駆的研究

公募期間：平成 28 年 1 月 5 日～ 28 年 2 月 2 日 (1 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人深田地質研究所：「平成 28 年度深田研究助成」

<http://www.fgi.or.jp/?p=3207>

分野等：

- (1) 地質学に関する研究・調査
- (2) 応用地質学に関する研究・調査
- (3) 地球物理学に関する研究・調査
- (4) 地盤工学に関する研究・調査
- (5) 環境工学に関する研究・調査
- (6) 防災工学に関する研究・調査

公募期間：平成 27 年 12 月 1 日～ 28 年 2 月 5 日 (12 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人ビタミン・バイオフィクター協会：「平成 28 年度（2016 年度）研究助成金」

<http://vitabio.sakura.ne.jp/jyosei.html>

分野等：ビタミン・バイオフィクターに関する研究

公募期間：平成 28 年 1 月 10 日～ 2 月 10 日

(1 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人山田科学振興財団：「2016 年度研究援助」

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kenkyu.html

分野等：自然科学の基礎的研究

公募締切日：平成 28 年 2 月 26 日

.....

☆公益財団法人三島海雲記念財団：「平成 28 年度学術研究奨励金」

<http://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/>

分野等：食の科学に関する学術研究等

公募期間：平成 28 年 1 月 25 日～ 2 月 29 日

(1 月号新規掲載)

.....

☆一般財団法人糧食研究会：「2016 年度研究テーマ募集」

<http://www.ryouken.or.jp/>

分野等：食品機能、健康・栄養、食品加工技術、食品安全などに関する研究

公募期間：平成 27 年 11 月 20 日～ 28 年 2 月 29 日

(12 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人畠山文化財団：「平成 28 年度 研究助成」

<http://www.ebara.co.jp/csr/foundation/topics.html>

分野等：環境・エネルギー・バイオマス等

公募期間：平成 28 年 1 月 12 日～ 3 月 10 日

(1 月号新規掲載)

.....

☆公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「平成 28 年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

(A) 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究

(B) 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究

(C) 豆類や穀類の利用加工技術、並びにそれらに関連する納豆菌等微生物の特性・酵素等に関する研究

公募期間：平成 28 年 1 月 15 日～3 月 10 日

◆ 5 ◆ 新技術情報

☆農林水産・食品分野等の新技術紹介

今回の新技術紹介は、農林水産省の「研究紹介 2014」に掲載された課題からのものです。

1. 園芸関係（果樹）：担い手確保、遊休農地解消のためのカキの軽労・省力化技術
（代表機関：奈良県農業総合センター、研究グループ：和歌山県果樹試験場、農研機構果樹樹研究所）（実用技術開発ステージ・現場ニーズ対応型：平成 22 年～ 25 年）

本研究の背景として、

- (1) カキ産地での生産者の高齢化、後継者不足による栽培放棄や遊休化が進行。
- (2) カキの老木化による生産性の低下。
- (3) 新規就農者や高齢者が取り組みやすい省力的な栽培法が求められている。

本研究の成果

- (1) 「富有」の幼苗接ぎ木翌年（2 年目）に着果させながら育苗する施肥、灌水体系の確立。
- (2) 「平核無」、「刀根早生」の既存樹の主幹を切断し早期に樹形改造できる技術の開発。
- (3) 「刀根早生」の冬季せん定時に、結果母枝先端 4 芽を切断する摘蕾時間短縮法の開発。
- (4) これらの成果のマニュアル化。

（問い合わせ先：奈良県農業総合センター果樹振興センター 電話：0747 - 24 - 0061）

研究成果のリンク先：カキ栽培の軽労・省力化マニュアル（奈良県農業総合センター）

<http://www.pref.nara.jp/35894.htm>

.....

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本年も産学連携支援による事業化促進、地域活性化、生物系先端技術の提供等を鋭意進めてまいりますので、ご理解、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

本年は、TPP の大筋合意に伴う予算措置が講ぜられ、研究開発の面でも緊急対策が進むことが期待されます。また、本年5月には伊勢志摩サミットが開催されますので、海外からの来客が更に増え、東海地域の魅力を知ってもらう良い機会となりそうです。そして、この一年、社会経済、企業・団体、地域が健全かつ着実に発展する年であるように願いたいものです。

ところで、この正月休みに読んだ本に、金丸弘美著「里山産業論～「食の戦略」が六次産業を超える～」(2015年12月発行)があります。最近は、農山漁村の活性化、六次産業化が様々に取り組みられていますが、著者は現場を数多く歩き、それらが点として個々に取り組みられても、地域の活性化に結びつきにくく雇用創出効果も小さいのではないかという感想を持ち、このことから、地域が一体的に俯瞰的なマネジメントの下、「食文化と健康作り」を中心として、食文化のテキスト作りや、生産、加工、調理、レストラン、学校給食、景観作り、自然環境、体験学習、地域人材育成などをネットワーク化し、一時的な集客でなく、個人客のリピーターが絶えないようにする戦略が必要であると述べています。地域活性化のためには、若い人、Uターン、Iターン組の雇用を確保できるように地域全体としての六次産業化が必要ではないかと述べており、六次産業化の発想の展開が求められており、成る程こういう考え方も重要なことと思いました。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX 052-789-4586

E-mail : bio-tech.co@go8.enjoy.ne.jp

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>